

ミラノ便り No.9



山火事が発生するほどの快晴が続いていたイタリアですが、8月後半から天気が崩れる日が出てきました。月末にもなると、最高気温が 30℃を下回る日も出てきます。朝晩の涼しい風によって、夏から秋への季節の変わり目が感じられます。

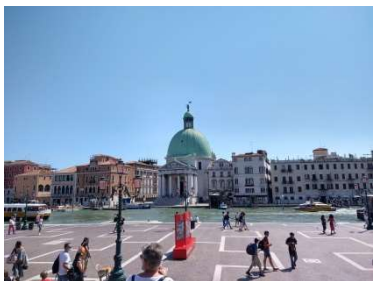
■ Venezia



東京オリンピックの入場曲でも使われたゲーム/FF(ファイナルファンタジー)シリーズ、アニメ/ONE PIECE、東京ディズニーシーなどなど。日本でもモデルとなった作品が幾つもある水の都・ヴェネツィア。天候を気にしつつも、周囲の勧めもあって突撃しました。3日間のうち一時的に雨が降る日もありましたが、半分は曇天でした☁

<ヴェネツィア・サンタ・ルチア駅 / Stazione di Venezia Santa Lucia>

駅の改札を出たところで広がる景色に思わず声が出ましたが、駅構内のグリーンパス(コロナ陰性証明)待ちの人の多さにも同じくらい驚きました。連日、朝から長蛇の列です。



8/26 13時



駅をぐるっと一周しています。



8/26 20時半 座る人 > 歩く人

また、駅構内には昔の駅舎の写真もパネルで展示されていました。



Stazione ferroviaria di Venezia alla fine del 1800 / Venice railway station at the end of the 18th century
Corteo della Regata Storica in Canal Grande / Historical Regatta on the Grand Canal

<水上バスに乗る>

気温も 20°Cまで下がり、水上バス「ヴァポレット」に乗船しての移動時は上着を羽織りました。「密」を避けるべく、船内のイスには座らずにデッキで立っていました。離島へ行くには約 30 分かかるため、上着を 2 枚羽織ってちょうど良いくらいでした。

サンタ・ルチア駅からサン・マルコ広場方面まで向かう途中、噂の乗船券の抜き打ちチェックも体験しました。1 日券を買いましたが、その日だけで 2 回のチェックを受けました。ちょうどヴェネツィア大学に近づいてきた場所でのチェックだったので、危うく大学を見逃すところでした🦋



8/27 チケットチェック



8/27 あいにくの雨天
犬も運河が気になります



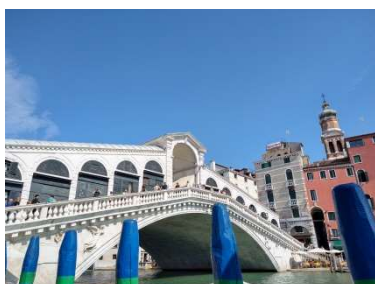
見逃しそうになった大学
この建物で合ってますよね？

<リアルト橋 / Ponte di Rialto>



橋の手すりに一列になってみんな写真撮影をしています。混雑なく写真撮り放題。ヴァポレットから偶然下船した場所にある市場(Rialto Mercato)から橋に向かうと、シマシマの服が飾ってあるお店を発見しました。

ゴンドラの漕ぎ手 Gondoliere(ゴンドリエーレ)の店です!!



8/26 15時



生鮮食品市場
MERCATO DI RIALTO



店名：エミリオ・セッカト
EMILIO CECCATO

ブログ等による事前情報も無く、最終日の朝ではなく初日に見つけていれば・・・非常に悔やまれます。東京ディズニーランドのアトラクション「ジャングルクルーズ」の船長に憧れていた時期がありましたので、漕ぎ手はカッコ良くみえるのです。土産物屋で帽子が10euroで販売されていましたが、あるお店にて5euroで購入でき満足です👍

その Gondoliere、世襲制と聞いたことがあったのですが、最近では養成学校があるとか。女性の有資格者もいるらしく、岐阜県の「鶺鴒匠」の様に伝統も変わっていくのだと感じました。



<サン・マルコ寺院周辺 / Basilica di San Marco>



雨天のため、屋内施設の入場列に並ぶことになりました。入場上限が180人と設定され、入口と出口で入場券のバーコードを機械にかざすことで、入口手前の電光掲示板に表示された現在の入場者数が変化していきます。午前中は60~70人だったのに対し、午後は130~140人まで増えていました。



雨の上だったサン・マルコ広場



同刻、Piazzetta San Marco



21時半 サン・マルコ広場

<ドゥカーレ宮殿東側の海辺>

到着初日は晴れていたこともあり、土産物屋も多くそれなりの人出です。翌日に雨が降り始めた頃にはカップと雨傘売りだらけになりました。天候に応じたスピーディな商売👍



8/26 16時
夕方になると更に人が増えます



コンドラも余っていて、シートをかぶっています。



地元警察の帽子も船乗り風です

<ムラーノ島 / Murano>



ヴェネツィア・サンタ・ルチア駅前にある水上バス乗り場「Ferrovia」から直通の便に乗りました。数人しか乗船客はおらず、島内も閑散としていました。



人影もまばらな島の入り口



ガラス製品の商店街を数人が歩いています



島東部の教会前広場にも数人

<ブラーノ島 / Burano>



ムラーノ島→ブラーノ島への水上バスの乗船客も数人でした。インスタ映えすると評判のブラーノ島の方が多くの人で賑わっています。帰りの便が混雑するという事前情報があったものの、観光客が例年より少ないこの時期でさえ1便待っての乗船となりました。

並んでいる列への割り込みがかなり多く、先頭列が列整理用の柵に押しつけられて進めずに進行が滞留するという悪循環。東京都内の朝の通勤ラッシュ時に体験したのと同じレベルで後方からグイグイと押し出されました。



8/27 16時 街の中心には人が集まっています。



お店の外のライトが点き始め、アペリティーボタイムの準備



問題の乗船場

■海辺の食べ物

魚介類が苦手なため期待していなかったのですが、泊まったホテル前の路地にある地元民向けのお店で美味しいイカフライ(Calamari fritti con polenta)が見つかる嬉しい誤算。イカの柔らかさが気に入り、二日続けて通ってしまいました。痛風にならないか心配です。

そのイカフライに添えられていたのが白い物体「ポレンタ」です。北イタリアのローカルフードで、ミラノ県(MI)の北側にあるモンツァ・エ・ブリアンツァ県(MB)の友人もよく作ると言っていました。

そして、ロンバルディア州は黄色いポレンタが主流である一方、ヴェネト州のポレンタは白い！という話を友人から事前に聞いていた通り、本当に白いポレンタが出てきました。材料や地域によって全く違うものになるんですね。信州の「おやき」のようです。

ベルガモではポレンタ・エ・オゼイ(Polenta e Osei)という食品がありますが、こちらはドルチェ・スイーツとしての別の食べ物です。フワフワしたスポンジケーキの様なお菓子でした。



夕食に食べると胃もたれ必至の
危険な山盛りイカフライ
その左側が白 Polenta



ベルガモのポレンタ・エ・オゼイ



中はスポンジです

■アクシデントもありましたが・・・

8月上旬からスマートフォンの画面がほぼ見えなくなり、小旅行の直前に買い替えてセッティングしました。まさかの故障でしたが、幸いにも進化したスマートフォンで旅行時の写真をきれいに撮ることができました。日本語対応 Android 機種が海外にもあるんですね。

また、グリーンパスが8月中旬まで有効でなく、建物・施設への入場が制限されていました。その間は広場や街の通りをよく見る計画を立て、普段は通り過ぎそうな場所にある街頭の彫刻や看板(サイン)などをじっくり眺める良い機会でした👁️



2021年9月